

「感染しない」「感染させない」を合言葉に

有田史談会 月例通信

コロナに負けない！

事務局 中村貞光

090-4740-4752



●有田史談会 HP へ GO！

坂井会長からのメッセージ♪

■ さわらびの萌え出づる季節となりました。皆さん元気にお過ごしでしょうか。

コロナの勢いが止まらず、新年度の4月は大橋先生を迎えての会食と講座開催が、本年度も残念ながら中止せざるを得なくなりました。

2月12日、伊万里市民図書館で「鍋島焼調査研究発表会」が開催され、友人と参加しました。

コロナ禍のためオンライン形式での開催で、映像を通じての参加でした。一日目は、大橋先生の「鍋島焼の始まりと変遷」と船井向洋氏の「日峯社下窯跡の調査成果」の講演があり、二日目は4人の講師による発表があり、大橋先生も同じ会場でも熱心にメモをとっておられました。コロナ終息後には、大橋先生へ今回の講座依頼をする楽しみが増えました。

■ さて、3月10日韓国の新しい大統領に尹錫悦（ユン・ソギョル）氏が選ばれ、日韓関係改善に期待が寄せられています。

3月6日の西日本新聞によれば、在福岡韓国総領事館の林（イム）領事は、朝鮮陶工が基礎を築いた有田焼と薩摩焼の原料陶石や焼き物の常設、市民交流を積極的にされているとのこと。5月4日の陶山神社で行われる「陶祖祭」に来町されるものと思われます。有田町挙げて歓迎したいものです。

陶山神社の陶祖坂の地崩れ改修工事も完了し、5月4日には例年通り李参平の記念碑前で「陶祖祭」が開催されると思います。

2000年7月、名護屋城博物館の見学をした折、展示コーナーの解説の一部を国際交流員の金浚英（キム・ジュンヨン）氏から頂いておりましたので披露します。その文章は日韓交流の基本的な考え方を表しているものと私は理解しています。

「長い交流の歴史の中には、友好の時代も侵略という不幸な時代もありました。私たちはその歴史を正しく認識して、お互いの文化と習慣を尊重しなければなりません。そして、率直に語り合い、より良い友好関係を築いていこうではありませんか。」

坂井勝也

事務局の独り言(▽)

■ 新型コロナウイルスの影響で穏やかな日常が奪われたまま3年目に入り、出口の見えない日々が続きます。本来ならば食事会でスタートしているはずの4月ですが、町内での感染が広がり1月62名、2月271名、3月78名（27日現在）と感染者が増え続けています。一昨年から中止になっている陶器市は、今年は開催予定で準備が進められていますが、このところの状況を見る限り開催が危ぶまれます。史談会の活動再開もまだ見込めませんが、感染防止に努めながら待ちたいと思います。

■ コロナ禍の中、会員の皆さんはどのような日々を過ごしておられますか？

私は2月から3月にかけて、現在の民生委員の活動全般を見直し、今後の活動についての提案をまとめる作業に没頭していました(◎_◎;)果たして提案が賛同を得られるかわかりませんが（笑）

民生委員制度は、大正6年に岡山で誕生した「済世顧問制度」を始まりとし、昭和21年に民生委員令が公布され、昭和23年に民生委員法が制定され現在に至っています。2003年には個人情報保護法が施行され、民生委員の活動に少なからず影響を与えています。民生委員の活動は個人や世帯の情報が不可欠なため家庭訪問は欠かせませんが、個人情報を守る盾に拒否されることもあり、活動の難しさを実感しています。

昨年4月、前任者の病氣療養で中途交代の委嘱を受け活動を始めましたが、コロナ禍で十分な活動は出来ていません。悩みや相談事などあれば声をかけてもらえるよう心がけていますが、活動の実態は旧態依然なものが多く、改善の余地が多くあると感じるようになりました。

■ 昨年度に引き続き本年度も会費は徴収せず運営を行う予定でしたが、年間に約35,000円程度の出費が見込まれますので、本年度後半には会費の半額徴収を行いたいと思います。どうかご理解下さい。

また、史談会のQRコードを作成しました。↑上へ一度はホームページにご訪問下さい。もうしばらくは例会が開催できないので、史談会のグループLINEに是非ご参加をお願いします(▽);